

会告

- 平成 25 年度各賞受賞候補者の推薦について
- 平成 26 年度会員会費の口座引落日のお知らせ及び会費自動振替制度ご利用のお願い
- WEB 掲載の溶接学会論文集 31 巻（平成 25 年度）の印刷物の購入について
- 千葉工業大学工学部機械サイエンス学科教員公募
- 第 41 回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）
- 全国大会講演概要集 価格改訂のお知らせ

平成 25 年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により平成 25 年度佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞、妹島賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、所定の推薦書（本会 HP より入手下さい）によりご推薦下さいようお願いいたします。

項目	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞	溶接学会技術貢献賞	妹島賞
授賞対象	多年にわたり溶接技術の開発または応用・普及に関し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著なもの。	ガス炎を利用した溶接・切断、工作等及び溶接技術全般に関し研究開発並びに実用化についてその業績顕著なもの。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げたもの。	溶接技術の開発または応用普及に中核的な役割を果たし、その業績顕著なもの及び溶接技術について若手技術者への教育・指導・育成の業績顕著なもの。	溶接プロセス（ハード及びソフト）に関する技術開発並びにその応用に尽力し、生産（製造）分野で多大な貢献のあったもの（個人又は団体）。
候補者資格	本会会員	本会会員に限らない			
推薦者資格	本会会員				
推薦手続	次の事項を記載した文書（所定の書式）6部を学会長宛（溶接学会事務局）に提出する。 イ. 候補者の氏名、職業・勤務先・役職名 ロ. 候補者の略歴 ハ. 賞を受けんとする業績の詳細（裏付となる資料を添付） ニ. 推薦者の氏名、連絡先 溶接学会業績賞については、賞を受けんとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。溶接学会技術貢献賞については、賞を受けんとする業績の詳細を添付する。				
推薦書提出期限	平成 25 年 12 月 31 日			平成 26 年 1 月 31 日	
授賞年月日	平成 26 年 4 月 23 日（第 82 回通常総会）				
その他	多年にわたる業績をお考え下さい。年令に制限はありませんが、溶接に通算 15 年以上関与したことを原則とします。またその業績には公的な活動が含まれていることが望ましい。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。	佐々木賞が多年にわたる業績（功労）を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付して下さい。	第1部門：溶接・接合、熱加工プロセス及び機器 第2部門：制御、システムの工学・技術及び組立実装技術 第3部門：材料及び溶接・接合性 第4部門：材料・製品の強度・破壊と設計 第5部門：施工・管理及び品質保証・品質管理 第6部門：新領域・境界技術	佐々木賞と同様、開発並びに技術普及・教育等の活動を含めて複数の業績があり、年令は 45 歳以下であることを原則とします。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。	故 妹島五彦君による寄贈基金で運用されており、妹島君が活躍された溶接プロセス分野の業績をお考え下さい。

平成 26 年度会員会費の口座引落日のお知らせ及び 会費自動振替制度ご利用のお願い (郵便局口座のご利用も可能になりました)

本会では事務の省力化のため、金融機関預金口座振替システムを利用した「会費自動振替制度」を実施しておりますのでご利用をお願いいたします。会員会費の納入方法を口座引落しされている方の平成 26 年度会費の口座引落日及び会費は次のとおりです。ご準備くださいますようお願いいたします。

口座引落日:平成 25 年 12 月 24 日 (火)

平成 26 年度正員会費	12,000 円
平成 26 年度学生会費	6,000 円
平成 26 年度賛助員会費	40,000 円×口数

今回、未納会費のある方は、平成 26 年度会費とあわせて引き落と

しさせていただきます。

引き落としされますと通帳に「MFS(ヨウセツカイヒ)」(個人会員の会費の略)と記入されます(お取引金融機関により多少異なる場合もあります)。

領収書は経費節減のため発行いたしません、発行を希望される方は、引落とし事務終了後領収書を送付いたしますので、事務局までお申し出ください。

口座引落しについての問い合わせ先: 会員係

TEL 03 (5825) 4073

引落口座の変更等は 10 月末日までにご連絡下さい。

WEB 掲載の溶接学会論文集 31 巻 (平成 25 年度) の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成 19 年 1 月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にて WEB 版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成 25 年 11 月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 31 巻 (平成 25 年度)

(※特別論文 Visual-JW2012 の収録は含みません)

価 格: 溶接学会会員特価 7,500 円/年 1 冊 (税込)

送 料: 500 円 (税込)

発行時期: 平成 26 年 1 月下旬頃

送 付 先: 学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAX にてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X : 03-5825-4331

申込締切: 平成 25 年 11 月 30 日

入金締切: 平成 25 年 12 月 31 日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社 (TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815) へ直接ご注文下さい。

定価 15,000 円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切: 平成 26 年 3 月 31 日

千葉工業大学工学部機械サイエンス学科教員公募

1. 公募人員: 教授または准教授 1 名
2. 所 属: 工学部 機械サイエンス学科
3. 専門分野: 鉄鋼材料およびその関連分野
4. 担当授業科目:
鉄鋼材料, 基礎材料工学, 力学, 材料工学実験, セミナール等
5. 応募資格:
(1) 博士の学位を有する方
(2) 大学院の教育・研究指導を担当できる
6. 着任時期: 2014 年 4 月 1 日
7. 提出書類 (A4 版横書き):
(1) から(7)まで紙媒体と PDF を提出。なお、PDF については各項目別のファイルを 1 枚の CD-R にまとめて下さい。
(1) 履歴書(写真貼付, 連絡先に電話番号と E-mail アドレスを記入)
(2) 研究業績リスト (学位論文, 著書, 有審査論文, 国際会議プロシーディングス, 解説, 特許, 外部研究費の実績, 受賞歴とその内容, その他などに分類。また、分類ごとに最新のものから記載)
(3) 学協会等ならびに社会における活動実績のリスト
(4) 研究業績に関する概要 (1,000 字程度)
(5) 教育に関する抱負 (1,000 字程度)
(6) 今後の研究計画 (1,000 字程度)
(7) 主要学術論文 5 編の別刷 (コピー可)
8. 応募締切り: 2013 年 11 月 8 日 (金) 消印有効
9. 選考方法:
第 1 次選考 書類審査
第 2 次選考 第 1 次選考合格者に対する面接審査
10. 書類送付先:
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
千葉工業大学 工学部 機械サイエンス学科
学科長・教授 本保 元次郎 宛
E-mail: genjiro.motoyasu@it-chiba.ac.jp
応募書類の封筒には「機械サイエンス学科教員応募書類 (鉄鋼材料分野)」と朱書きの上, 簡易書留で郵送して下さい。応募書類は原則として返却致しません。
11. 問い合わせ先:
機械サイエンス学科 教授 齋藤 哲治
電話 047-478-0315 E-mail: tetsuji.saito@it-chiba.ac.jp
12. 備 考:
採用後 3 年間は年度毎の契約更新制とし, その間の教育研究業績・素行等に問題があると判断された場合には, 契約を更新しないことがあります。最終契約期間満了時点で, 特に問題なしと判断された場合には, 契約期間の定めがない専任教員に身分変更します。契約期間中は, 契約期間が定められていること以外, 処遇等は契約期間の定めのない専任教員と同一です。詳細はメール等でお問い合わせください。

第 41 回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会 & 講演会）

IIW 資格制度特認コース：J-ANB 認定講座
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座

「自動車工場見学と自動車製造における最新の溶接技術」

主催：(社)溶接学会 東部支部
共催：(社)溶接学会 東部支部-群馬地区委員会
協賛：日本溶接協会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，日本鉄鋼協会，日本鋼構造協会，日本ロボット学会，ステンレス協会，軽金属溶接協会，日本非破壊検査協会，腐食防食協会，日本溶接技術センター，日本工業出版，産報出版
(順不同，含依頼中)

趣 旨：

日本の基幹産業の一つである自動車工業では，抵抗溶接やスポット溶接をはじめとする溶接技術がひろく用いられています。自動車工業は，車体軽量化など製品の技術的な改良の他にも，製造面でも生産性の向上を継続的に実施して，国際競争力を常に維持している日本の代表的な産業です。

本講座では，材料・溶接機器・組立メーカーの各立場から自動車製造における溶接技術の適用事例や最近の動向を講演するとともに，自動車工場の見学を実施いたします。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

開催日時：平成 25 年 11 月 14 日（木）

開催場所：富士重工業株式会社 群馬製作所 矢島工場
(〒373-0822 群馬県太田市庄屋町 1-1)

定 員：60 名（先着受付順，定員に達した時点で締め切らせて頂きます）

参加費：溶接学会員（賛助会員含む）9,000 円，
非会員 13,000 円，学生 4,000 円
(テキスト代・昼食代を含む)

申込締切：平成 25 年 11 月 7 日（木）※参加費振込み締切

申込方法：必要事項（末尾の申込書式参照）を記入の上，電子メール，または FAX で申し込み下さい。申し込み後，返信メールなどで仮参加受付を確認後，以下の銀行に上記参加費を振り込み願います。振り込み確認後，正式な参加受付確定としますので，原則として上記締切日までに振り込み願います。(振り込み手数料は各自負担願います)

[振込先]

みずほ銀行 大岡山支店（支店番号：145）

普通預金 口座番号：2176706

名義：溶接学会東部支部

申 込 先：東京工業大学大学院 理工学研究科
国際開発工学専攻 高橋研究室 三田尾
e-mail: jwseast@ide.titech.ac.jp
Fax: 03-5734-3915

受講ポイント：

- ① IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
計 2.85 ポイント
(モジュール M1:2.75pt, M2:0.1pt)
- ② ISO14731/WES8103 溶接管理技術者
再認証クレジットポイント：6 ポイント

■集合

集合場所：東武伊勢崎線太田駅 南口出口付近

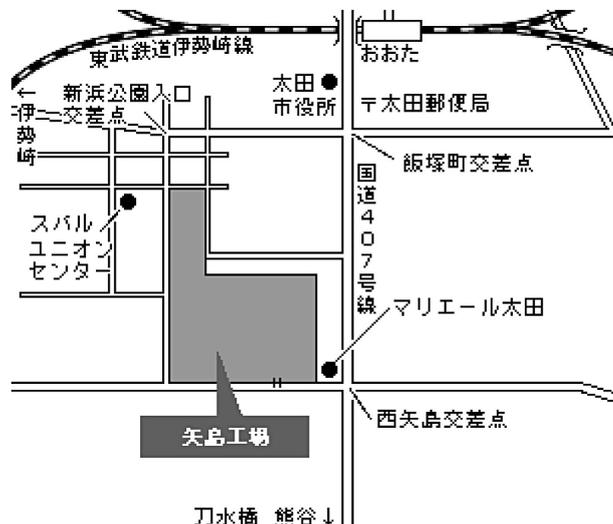
集合時刻：9:50 集合場所から会場までは，専用バスにて移動します。

(電車参考) JR 上野駅 7:57 (快速ラビット・宇都宮行) - JR 久喜駅 8:37

東武伊勢崎線 久喜駅 8:41 (区間急行) - 太田駅 9:46

お車での参加はご遠慮ください。

解散予定：東武伊勢崎線 太田駅



プログラム：

- (1)10:00～10:10 開会の挨拶（東部支部支部長）
 (2)10:10～11:20 「自動車用ハイテン材の溶接部特性および溶接技術の開発動向」

*IIW pt= M1: 0.6pt (M1.2: 0.1pt, M1.3: 0.1pt, M1.7: 0.4pt),
 M2: 0.1pt (M2.1: 0.1pt)

JFE スチール株式会社 スチール研究所 池田 倫正 氏
 自動車車体の軽量化（燃費低減）、高強度化（衝突安全性向上）を目的に種々の材料が検討されているが、中でも、高張力鋼板はコストパフォーマンスの点で最も優れているため、その適用部位は今後も拡大する傾向にある。高張力鋼板の溶接部特性あるいは溶接施工性には従来鋼と同等以上の特性が要望されており、そのため様々な溶接技術が開発されている。本講演では、高張力鋼板の溶接部特性を紹介するとともに、高張力鋼板をより有効に活用するために開発された抵抗スポット溶接技術およびアーク溶接技術について紹介する。

- (3)11:20～12:30 「抵抗溶接での適応制御応用について」

*IIW pt= M1: 0.7pt (M1.7: 0.7pt)
 株式会社ナ・デックス 開発担当

インバータ式抵抗溶接での適応制御についての原理および応用事例について説明する。具体的には、分流溶接、板際溶接、めっき鋼板溶接、異物溶接などの適用事例を紹介するとともに、今後の自動車業界での抵抗溶接の課題を検討する。さらに、弊社が開発した溶接用タイマーおよび 100kw レーザ

の溶接機器なども併せて紹介する。

- (4)12:30～13:30 昼食休憩（お弁当をご用意します。弁当は参加費に含む）
 (5)13:30～14:40 「スバル車における溶接の種類及び抵抗スポット溶接の課題」

*IIW pt = M1: 0.7pt (M1.2: 0.1pt, M1.3: 0.1pt, M1.7: 0.5pt)

富士重工業株式会社 生産技術研究部 坂井 健輔 氏
 自動車工場では多種にわたる溶接技術が採用されている。本発表では、スバル車において採用されている溶接の現状技術および将来技術の展望を紹介するとともに、各々の技術の長所や短所を解説する。特に、現状の溶接工法として 9 割を担っており、かつ長い歴史を持った確立した溶接技術と考えられている抵抗スポット溶接について、今後の材料の高度化・車体合理化・環境の観点から、自動車製造における課題および解決案や施策活動の詳細を報告する。

- (6)14:40～14:55 休憩

- (7)14:55～16:10 富士重工業株式会社 群馬製作所

矢島工場・ビジターセンター 見学会

*IIW pt = M1: 0.75pt (M1.2: 0.1pt, M1.3: 0.1pt, M1.7: 0.55pt)

見学にあたっては制約事項（撮影および触手禁止、携帯電話の携行禁止など）があります。同業他社に所属する申込者はお断りすること、また、一部が非公開となる場合があります。

- (8)16:10～16:30 質疑応答

- (9)16:30～16:40 閉会の挨拶（東部支部副支部長）

■申込書式**第 41 回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）申込書**

（申込日： 月 日）

●受講者名（漢字&ふりがな）： _____

●会員資格（○をつけて下さい）： ・正会員 ・賛助会員 ・学生 ・非会員

●参加費請求書（○をつけて下さい）： ・要 ・不要

●勤務先／会社名・所属部課名 または通学先／大学名・所属学部学科名

●勤務先／通学先の連絡先

・住所： _____

・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____

●全国大会講演概要集 価格改訂のお知らせ

全国大会講演概要集は、昭和 63（1988）年秋季全国大会（第 43 集）より価格を 25 年間据置しておりましたが、平成 26（2014）年春季全国大会（第 94 集）販売分より価格を改定いたしますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

〈現行価格〉 5,000 円（税込）／冊

↓

〈改定後価格〉 6,000 円（税込）／冊

平成 26（2014）年春季全国大会（第 94 集）販売分より